

令和5年度長野県スポーツ推進審議会 健康福祉部 障がい者支援課資料



スポーツを通じた共生社会の取組

1 はじめに

“ スポーツを通じて共生社会をつくる ”



長野県では、新しいパラスポーツ普及の波を起こし、
2028年に長野県で開催される全国障害者スポーツ大会を成功させるため
「パラウェーブNAGANO」プロジェクトがスタートしています。
東京2020パラリンピックを契機に生まれたこのプロジェクトは、
子どもや高齢者、障がいのある人もない人もすべての人を巻き込んだ大きなパラスポーツの波とし、
「スポーツを通じた共生社会」を目指しています。

2 令和5年度実施事業

**(1)パラウェーブNAGANO教育プロジェクト
「パラ学」の実施**

(2)パラウェーブ広場の開催

(3)ボッチャ競技大会

「パラウェーブNAGANOカップ2023」の開催

(4)総合型地域スポーツクラブへの支援

(1) 教育プロジェクト「パラ学」の実施



パラ学とは

県内の学校に対し、県独自のパラスポーツ体験型授業の提供のほか、パラリンピック教育教材やパラスポーツを題材にした各種プログラムの紹介を行うプロジェクト

目的

- ・座学、パラスポーツ体験及び出前授業等を通して、児童の「多様性」と「しなやかな心」を育むこと
- ・「障がい」「共生社会」について考えてもらうきっかけづくり

県オリジナルプログラム

「車いすボールチャレンジ」等のR4実績

のべ 46校 95クラス(回) 2,351人
(R3実績)

のべ 22校

72クラス

1,536人

| 車いすボールチャレンジとは |



バスケットボール用車いすに乗って、みんなでゴールを目指せ！

「車いすボールチャレンジ」

長野県出身のパラリンピックのメダリストを講師として学校に派遣します。
(学校体育館で実施、原則小学4～6年生・中学生が対象、70分～100分授業)

※子どもたちの体験の質を高めるため、事前事後にI'mPOSSIBLEの活用を推奨します。

講師：

加藤 正(伊那市出身)

車いすバスケットボール
アイススレッジスピードレース

馬島 誠(辰野町出身)

パラアイスホッケー
パラ・パワーリフティング

1回目の挑戦

まずはチャレンジ！

6人1グループで全員が競技用車いすに乗車した状態で、スタートラインからボールを移動させ、2分間で何回ゴールができるかを競います。

<イメージ>



みんなで話し合い (作戦会議)

講師から最小限のヒント！

どうすればゴールが増えるか
みんなで考えよう！



2回目の挑戦

話し合ったことを実践！

1回目より多くのゴールを
決められるだろうか…



振り返り

気づきの交流

講師からの振り返り



子どもたちの到達目標

- ・みんなで工夫し協力して、困難を乗り越えることの大切さを実感
- ・夢中になって真剣に取り組み、パラスポーツをより身近な存在に感じる
- ・体験後もパラスポーツに引き続き興味を持ち、自発的に次のステップへの意欲を持つ

バスケットボール用車いすは、(公社)24時間テレビチャリティー委員会から長野県に寄贈いただいた物です。

(2)パラウェーブ広場の開催

パラウェーブ広場
in イオンモール松本

パラウェーブ広場とは

人が多く集まる場所で行う街頭型パラスポーツ体験イベント

R5実績

全3回で約1,000人が参加

- ①8月26日(土)、27日(日)
@24時間テレビ広場(長野市)
- ②10月21日(土)
@県庁マルシェ
- ③1月28日(日)
@イオンモール佐久平

①24時間テレビ広場

概要

【開催日】 2023年8月26日(土)、27日(日)

【場所】 長野市若里公園特設会場

※日本テレビ系「24時間テレビ」連動のテレビ信州主催企画

【実施内容】 「ボッチャ」体験
障がい者共生条例紹介コーナー

【体験者数】 約300人



効果等

- テレビ信州の番組で紹介があり、広告効果もあり
- 体験ブースをメインとした会場構成となっており、来場者の参加意欲が高い
- 番組の趣旨から福祉に関心の高い来場者が多く、障がい者共生条例に関する説明への反応も高い

③イオンモール佐久平

概要

- 【開催日】 2024年1月28日(日)10時～16時
- 【場所】 セントラルコートA・B
※イオンリテール株式会社のご厚意により無償提供
- 【実施内容】 「パラアイスホッケー」、「車いすバスケット」、「陸上競技レーサー」体験
- 【体験者数】 約600人

障がい疑似体験

障がい者誘導体験、点字ブロック歩行体験、クイズ

テナント連動企画

テナントショップに協力を募り、「障がい」や「ユニバーサルデザイン」に関連したPOPを実施

10店舗が参加



(3) ボッチャ競技大会の開催

PARAWAVE | ボッチャ競技大会
NAGANO

パラウェーブNAGANOカップ

概要

- ・障がいや年齢、性別を問わず、小学生以上であれば誰もが出場可能なボッチャの大会
- ・県内4カ所で地区大会を実施したのち、上位チームによる県大会を実施

R5実績

104 チーム 460 人



開催概要

地区	日時	場所	チーム数	参加者数
北信	11月11日(土)	長野市信州新町体育館	19	82
中信	11月18日(土)	ANCアリーナ(安曇野市)	23	102
南信	11月23日(祝)	ロジテックアリーナ(伊那市)	14	60
東信	11月25日(土)	東御市中央公園第一体育館	48	216
県	12月16日(土)	県立武道館(佐久市)	35	157

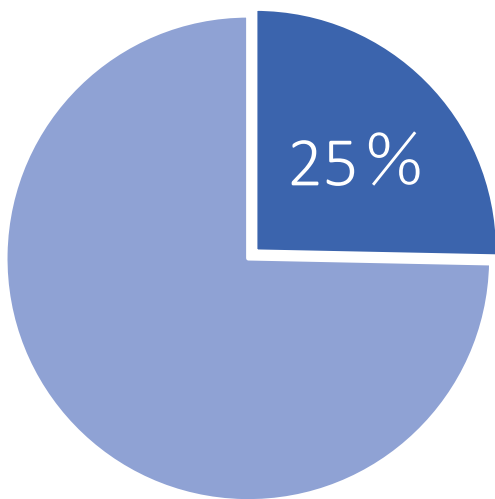
※地区大会は予選リーグ+トーナメントで4地区のチャンピオンを決定



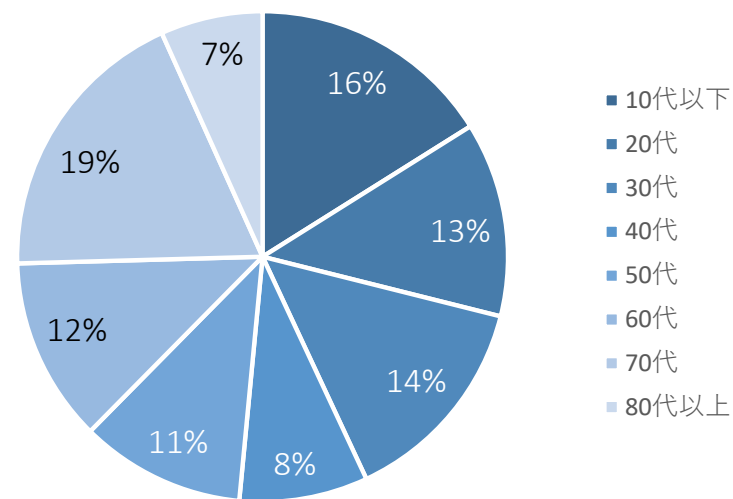
参加者情報

- 104チーム460名が参加し、内118名が障がい者
- こどもからお年寄りまで幅広い世代から参加

障がい者の割合



年齢別



プロジェクト全体 来年度の方針

- **(継続)市町村単位の教育委員会や社会福祉協議会との連携強化**
→学校への周知機会の増加
- **スポーツ行政の一元化に伴う一般スポーツとの新たな連携強化**
→スポーツ推進委員への働きかけ
- **県内競技団体やチームと連携**
→県内プロスポーツイベントや企業対抗運動会等との共催
- **市町村へのボッチャ競技等の拡大**
→パラスポーツの普及拡大や地区予選を市町村ごと開催へ

(4) 総合型スポーツクラブへの支援

総合型地域スポーツクラブ[※]等への県職員の支援

「パラスポーツ体験会」に県職員を派遣

パラスポーツの体験会を開催いただき、県職員が障がいのある方も参加できるプログラムが提供できるようノウハウを伝授

車いすバスケット、ボッチャ、パラ学など

支援クラブ

- ・小川スポーツふれあいクラブ（小川村）
- ・チャレンジゆうAchi（阿智村）



4 その他

広報

PARAWAVE NAGANO 公式HP

- ・ 事業の効果的な発信のため、R3に公式HPを開設
- ・ URL <https://parawave.nagano.jp/>
- ・ 知事出演動画で活動を P R

